

社 説

奮發するよと能は  
ずんば退くべし

今の文明は維新政府の率先して輸入したる所にして當時の人民は只その指揮に従って動かしたるのみ政治法律は云ふに及ばず商業工業の革新も其端を著ししものは政府にして初めて鐵道を敷き銀行を開き印刷業に着手したるは政府より製糖の先例を示し製紙の模範を置きしも政府にして會て外國に商店を設けて政府自ら貿易を營みしものと云ふ勿論民間には洋學者の類ありて既に文明主義を主張したるものと云ふも學者を備ふるものは即ち政府にして一旦文明主義の利を悟るや活潑果敢、苟も廢す可きは即時に廢し採る可きは即時に採り進め躍せざりし其勇氣は威嚇の外なし或は鷹爪斷髮を令し或は應藩置縣を行ひ又は門閥を打破して平民に苗字乘馬を許す等直に決して直に行ひ改革に大々に改革を以てしたる其勢は恰も魯の如くにして人民は只狼狽したるのみ其證據は當時政府より御布告を發すれば之を狀圖に納めて各戸に頒布するの習なりしが京都の人民は此狀圖を名けて嘆息箱と云ひしよし以て政府の果敢人民を驚したるの情を察す可し然るに此人民の性質本家愚鈍ならず唯一時の方角に迷ふのみなれども其實は恰も活潑にして如何なる事をも舉ぐ得べからざるものなし僅か三十年の間に殆んど同一の人民とは思はれざるまでに進歩して文明の利器は一として利用せざるなく有て轉進せられし者が今は却て他を顧みて其急進を促すに至りしを今日實際に於て現に運輸交通の機關は發達せる商工業の需用に應ずるに足らず大に擴張す可しと人民の疾呼する所にして其他地方政なり教育政なり一切の行政その規模狭小にして用を爲さず速に増進せしめて其進歩を計る可しと進歩するものは常局者が優柔にして敢て斷行せざるは何ぞや政府の仕事を停滯不動にして非ず數年前と今日とを比較すれば著しき進歩にして例へば鐵道の如きも或は倍増し或は又北陸線を開きたるのみか既設の線路にも多少の改良を加ふるなど見る可き事蹟なきに非ざれば僅か民間より蓄積百計して鐵道と云はれ難き事蹟も亦も左まで不面目と思はざるの情もあらんやなれば兎に角に人民が奮發して政府を追ひ抜るもの間に距離を生じたる上は先んずるものを引止むるものも促すか二つの一つの處置なからん可らず然るに世間を見れば孰れも一生懸命に進行し可らず進歩を引止むるものも多しや若し時時油断なれば矢張り政府を鞭撻して急がしむるより外に工夫あり可らず政府とて本家能く性質に非ず革新の氣には何れも乏しき時即時に斷行し改革を遂げ、人民を奮發せしめしめたるはせしめれば今一たび奮發せしめざる可しと云ふも或は多量の進歩に於ては漸進に於ては休まず可し政治は元來急の所

政客の専横に非ず人民も亦何時までも之に依歸するの心なし一旦政府に空位を生ずれば直に相應の相續者を得べきは疑ふ可らず商業工業は斯の如く發達し學問教育も相應に進歩して聞く可き議論少ならず巧に實業を経営し立派なる議論を發する人民にして獨り政治の出來ざる理由は有る可らず在朝の人々にして果して勇氣あらば思ひ切つて掃尾の運動を試む可し然らずんば退て老體を養ふ可し天下決して政治家の乏しきを憂へざるなり

地方事情 (十八)

下總千葉 (八月五日發信)

金融 當地方に於ける五圓金は概して一月後即ち本月を以て之を行ひ同時に金融上の取引を終了するの慣例なるのみならず時恰かも蕭生絲の出荷期に際するが故に金融漸く逼迫を告ぐるに至り現に千葉商業銀行等の日歩は三錢より四錢位の間を往來す  
穀物價 由來當地方に於ては諸穀物の價格割合に少く一定の價格を保ちて旬餘の久しきに渉るものと珍らしからねど此頃に至りては殆ど異例の關子を以つて刻々昂進せり即ち白米小賣相場は如きも從來は一等にて圓に八升四五合以下二三合位の邊を往來せしが近來は實に七升前後の高直を顯はすに至り鹽糖油薪炭石油唐物小間物與服其他常の諸雜貨物等概ね二三割以上甚だしきは五割方の暴騰を示すに至り七八割以下の官傳に衣食するもの及び一定の資金を得て生計するもの困難實に名狀すべからず  
産業の狀態と特産物 本縣の産物として稱すべき重なるものは米穀薪炭魚類海草類肥料貝類茶煙草藍生絲等に於て一地方の特産物は野田の醬油、流山の味噌、佐倉の饅頭、中山の蕎麥、行徳の鹽、房州の石材等に於て千葉地方よりは年々多量の澱粉を製出す從來本縣に在りては魚鹽二業に従事するもの殆ど其の大半を占めたるが最近に至りて養蠶業の發達著しく試みに桑畑、反別増加の比例を擧げん明治二十三年に在りては一萬九千四百七十八反歩の概算なりしが二十四年には二萬三千九百九十二反歩廿五年には二萬六千七百四十八反歩廿六年には三萬五千五百五十五反歩廿七年には三萬四千八百八十三反歩廿八年には三萬六千八百九十三反歩にして昨今兩年度の増加は尙ほ一層多額なりと云ふ而して製茶は年々其產額を減少するの傾きあり恰かも蠶業の發達と反比例の現象を顯はすに至る唯印旛郡佐倉岡協社及び岡部八街にて盛に本業に従事するもののみならず本縣の水産は之を地勢に依りて海流、氣候の關係より推する全國屈指の漁業地ならざるべからざるものありに拘らず從來過半として兎角に獲漁せず三四沿岸の漁民は比年實窮の苦境に沈む彼の奥者の富穡には似たりしが最近當局官憲並びに地方有志家の啓蒙其宜しきを得て稍や發達の兆を示せり今後更に十年を経過せば漁業の產額今日に數倍し沿岸の漁民悉みに富裕を樂しむるべし

露國農家の狀態 (三)

抑々前段に陳べたる借地料及び労働務の量の確定は唯是れ解放の彼岸に達する中流の一編として思考され得べきのみ如何にも小作人が地主の我儘勝手なる人身束縛より或區域まで救済されたるには相違なれども何等か一般の理財的地位は依然として實に異ならず如何となれば新來の借地料及び義務的労働は多數の場合に於ては舊の借地金及び借地税と量に於て倍増に一致し畢竟前者は多く後者を土産として定めたるものなればなり  
是の故に我々の話頭は今や解放過程の第二期に進まんとするなり、前述の手段に比しては遙か影響を及ぼすもの大なるもの、即ち結局小作人をして自家の地主たるに至らしめんと期する方策の創始せられ借地料拂込みの仕組は則ち百姓をして遂には土地を賣取るに足らしむる所の年々償還金仕組の仕組に改めたり然れども百姓に分ち給す可き地面の面積を最初に制定する事及び其借地料を定むる事若しくは之に續て起りし所の事項たる償還金の高を定むる事に關して起り來りたる問題は中々入りたるものなりし、先づ其困難を云へば小農亞細亞、ソニーア及び昔のポーランド諸州の如き露西亞帝國版圖の種々なる部分に於て其地方に固有なる風俗習慣の參考に入れざるを得ざるものあるのみならず是等の固有點に於ては何程か平等の行はるる大露西露に於てすらも尙ほ且露林帯 (フン

ストン)の異なるものあり (フン、ア、ア) 故に露土帯に住する露林帯地方に於ては貴族の勢力が依つて以て之を地主的にして地主的の具にして地主的に至りては其の各場合に於て判別したるに於て思想の寛裕なるもの熱心に由て活動的を執りたるものと云ふリン、ニコラススキーなり而も其の等の名士等も事等たり  
地面を所有するものたるに於て我輩は土著の地主に對しては凡そ百五十萬人) 是等は即ち地主たる者なり二年を経て後より東洋の農家は其の數多は則ち一分類として在りしは職業も亦く是は復た再び抑も政府が借地料局、百姓地主を妨ぐ) 斯くしては妨ぐ) ありし後政府は其他西部諸州の地に許容性に止まると命する強迫性の地主等はポー等の利害をして地主的に立せしめんとす) 於てはアレキサン) のものと成らざる) 然れども百姓が) 追されざりしとは) 買代價の五分の四) であり左の如き) あり用立てる彼の) 故せり則ち百姓) よりも地主の要求) るものと云はれ) 事の際に地主の) 中の三は地主の要